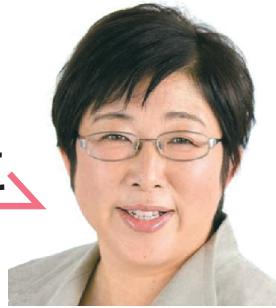


# 生活者 ネットワーク 区議レポート



きみがき圭子

橋本けいこ



やない克子

No.26

2017年11月10日

発行責任者 やない克子

T176-0001

練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303

TEL 03-3948-6408

FAX 03-5999-4632

Eメール:net-gikai@jcom.home.ne.jp

http://nerima-seikatsusya.net

\*上記より区議レポートのバックナンバーと  
政務活動費の収支報告書が見られます。

第三回定例区議会が決算特別委員会を含め、9月6日～10月13日に開催され、私たちは生活者の立場で前川区政をチェックしました。

## 区長の「子ども観」異議あり

## 低所得者・空き室を活用して 低所得者への住まいを！

「子どもは〇歳から18歳」と児童福祉法で定義されています。しかし、「福祉は得意分野」と自ら公言する区長が力を入れている子ども施策は、「待機児ゼロ作戦」や低年齢を対象とした虐待

対策などです。中高生を含めたすべての子どもたちが抱える虐待や貧困などの問題に真摯に向き合い支援すべきです。子どもも社会の一員として認め、権利を保障する施策を求めて

低所得の高齢者・若者・障がい者・子育て世帯の住まいの確保は、家主が不安を感じて難しい現状があります。私たちは、これまで区内居住支援協議会を設置し、空き家・空き室を活用した低家賃の住まいの確保を求めてきましたが、区は「都の制度化の状

況を注視する」という姿勢です。区が協議会を設置することで、地域の実情に応じた具体的な支援が期待されます。さらに、社会福祉法人等と連携して、円滑な入居手続きや、入居後の暮らしを支えるしくみもつくる必要があります。

## 雨水タンクで「練馬ダム」を

昨今の集中豪雨による都市型水害を防ぐには、コンクリートによるインフラ整備で雨水(うすい)を排除する考え方から、雨水(あまみず)を貯めて活かす考え方への転換が必要です。区は雨水タンクと浸透施設の

セットで設置しないと助成していません。しかし、区内の各戸が雨水タンクを設置したとすると、小型ダム1基分の貯水量になります。タンク単体でも全額助成し、「練馬ダム」の実現をめざすよう提案しました。

8/8  
都市型ケアハウス(軽費老人ホーム)  
「ほっと・ハウス・仲町」視察



▲視察後、事業者より高齢者の住まい・暮らしの様子や事業運営の実態を聞く。8/8

8/25  
子どもの特性に応じた発達支援を受けられる「放課後等デイサービス」の現状を視察



▶水深50センチの水槽内を歩行体験。予想以上の不自由さを実感。9/1

9/1  
光が丘にある防災学習センターの防災企画展

9/18  
「秋だ！実りだ！脱原発！地震国に原発いらない 練馬でもデモ」に参加  
▶脱原発と再生可能エネルギーへの転換を訴えた。9/18



10/9  
「都心を超低空飛行する新飛行ルートは撤回を！」に参加し、羽田空港増便・新飛行ルート問題を共有しました

10/17  
「朝鮮学校『高校無償化』裁判 東京判決★ねりま集会」に参加

**妊娠・出産・子育てを通じての支援を!**

妊娠・出産は心と体に大きな変化があるにもかかわらず、産後は昼夜を問わない授乳などであわただしく暮らさなくてはなりません。現在は少子化・核家族化の



<http://khashimoto.seikatsusha.me>

男女共同参画センターえりG B Tの相談窓口がで生き、生活者ネットが要望した「相談窓口の明確化」が実現しました。ところが、この間しG B Tと指定した

度を利用したい人だけではなく、性自認（心の性）や性的指向（誰を好きになるか）を明かしたくない人に対しても、自治体の姿勢を示すことになる、と私はこの夏に参加した研修で確認しました。

今定例会で同性パートナーペアや、パートナーシップ制度の制定が必要です。

ため、出産して初めて赤ちゃんに接する人も多く、育児で孤独に感じて産後うつになる場合もあります。

児童虐待は0歳児が最も多く報告されています。虐待を防ぐためには、妊娠期から不安や疑問を受け止められるスタッフの存在や、継続的に相談できる場所の提供が有効です。妊娠期から相談できれば、出産後も虐待の解消や、育児の孤立化防止が図られます。

情報提供と相談機能を持つ「利用者支援事業」を

練馬区では、今年度から男女共同参画センターえりG B Tの相談窓口がで生き、生活者ネットが要望した「相談窓口の明確化」が実現しました。ところが、この間しG B Tと指定した

度を利用したい人だけではなく、性自認（心の性）や性的指向（誰を好きになるか）を明かしたくない人に対しても、自治体の姿勢を示すことになる、と私はこの夏に参加した研修で確認しました。

こうした取り組みは、制度導入した世田谷区では、「安心感を得た」「この制度があるから転入した」という声があります。

度を利用したい人だけではなく、性自認（心の性）や性的指向（誰を好きになるか）を明かしたくない人に対しても、自治体の姿勢を示すことになる、と私はこの夏に参加した研修で確認しました。

誰もが安心・安全に暮らすことにつながります。差別や偏見に苦しみ、生きづらさを感じる人々に寄り添い、性自認および性的指向を理由とした差別を禁止する条例や、パートナーシップ制度の制定が必要です。

妊娠期から子育てまで対応しているのは、子ども家庭支援センターだけです。決算特別委員会では、さらに身近な場所での事業の実施を求めましたが、相談体制は足りていると、危機感はありません。

エネルギーの専門家も「水素エネルギーはいずれは有効になるかもしれないが、今やることではない」と言っています。

新しいことに飛びついて得意になつてているのではなく、今着実にできる太陽光などの自然エネルギーの利用を普及させ、エネルギー自立都市をめざすべきです。

日本のエネルギー政策を変えるには、まず自治体が住民と連携して、地域で電気をつくる取り組みが必要です。

練馬区が、2016年3月に策定したエネルギービジョンでは、東日本大震災で経験した原発の危険性に全く触れていません。再生可能エネルギーの普及を掲げてはいるものの、水素エネルギーの活用が期待されるとしていち早く水素ステーションを開設しました。

しかし、全国的にはまだ普及率をつぎ込んでいます。しかし、全国的にはまだ普及率をつぎ込んでいます。

前川区長が就任し、区政府改後初めて作った260億円を超える大型予算、その約6割を福祉・子ども・イメージアップのための派手なイベントや宣伝に多額の予算をつぎ込んでいます。

しかし、1歳児1年保育のような場当たり的な待機児対策や、日々の生活に困窮する区民を支える貧困対策は不十分です。

また、区政改革も「区民との協働」を柱にしましたが、区民を単なる区の協力者としてしか考えず、「対等な立場で共につくる」という視点に欠けています。

以上のことから決算の認定に反対しました。

2016年度決算に反対派手な宣伝より区民の人权と平和を守れ!

議会運営委員会  
企画総務委員会  
医療・高齢者等特別委員会



<http://yanai.seikatsusha.me>

相談がないという現状は、区が施策に消極的だと思われているからではないでしょうか。

同性パートナーシップ制

と答えました。2年前とまったく考え方が変わっています。

「区が取り組む考えはない」とことは問題です。

性的マイノリティの問題に目を向ける人が地域に増えていることは、一人ひとりの違いや多様性が尊重され、誰もが安心・安全に暮らすことにつながります。差別や偏見に苦しみ、生きづらさを感じる人々に寄り添い、性自認および性的指向を理由とした差別を禁止する条例や、パートナーシップ制度の制定が必要です。

2016年4月に電力自由化が始まり、一社独占だった電力会社から各家庭で他の会社を自由に選べるようになりました。

電力会社を変える理由は、電気料金、付加サービス、電源構成など様々です。特に「原発を電源とする電気を選ばない」という選択肢ができたことは「原発ゼロ」。

自然エネルギーの社会に変えていきました。

しかし、政府は原発事故を再稼働させました。

前川区長が就任し、区政府改後初めて作った260億円を超える大型予算、その約6割を福祉・子ども・イメージアップのための派手なイベントや宣伝に多額の予算をつぎ込んでいます。

しかし、1歳児1年保育のような場当たり的な待機児対策や、日々の生活に困窮する区民を支える貧困対策は不十分です。

また、区政改革も「区民との協働」を柱にしましたが、区民を単なる区の協力者としてしか考えず、「対等な立場で共につくる」という視点に欠けています。

以上のことから決算の認定に反対しました。

文教児童青少年委員会  
清掃・エネルギー等特別委員会



<http://kimigaki.seikatsusha.me>

## Information

■第四回定期区議会  
11月30日(木)  
~12月15日(金)  
開催予定

■区政報告会(予定)  
12月20日(水)  
16:00 光が丘駅  
17:00 練馬駅  
12月21日(木)  
16:00 石神井公園駅  
17:00 大泉学園駅



編集後記

突然の衆議院議員選挙で、選挙費用の補正予算議案追加や委員会日程の変更など区議会も対応に追われた。来年4月に区長選挙と同時に区議会議員補欠選挙が行われる予定。2014年の低すぎる投票率31%から大幅に引き上げる努力を区と区議会に求めたい。(Y・K)